季節の風景 2月

インフルエンザ

「インフルエンザ」の語は、16世紀のイタリアで名付けられました。当時は何らかの原因で汚れた空気によって発生するという考え方が主流でした。冬季になると毎年のように流行し、春を迎える頃になると終息することから天体の運行や寒気などの影響で発生するものと考えられ、この流行性感冒の病名は「影響」を意味するイタリア語（ｉｎｆｌｕｅｎｚａ）から名付けました。現在までに人に感染するインフルエンザウイルスには、A型・B型・C型の3つの型があり、毎年流行を起こすのはA型とB型です。中でも大流行を起こすのはA型で、病状が重篤になる傾向があり、死に至ることもあります。また、感染力が強いために世界的大流行（パンデミック）を起こしやすく、過去には香港かぜやスペインかぜなどで多くの死者を出しました。2009年に世界中で流行した「新型インフルエンザ」は、A型（H1N1亜型）というものでした。

インフルエンザの感染経路は「飛沫感染」「接触感染」などで、予防するには、うがい手洗いが基本になります。汚染された手で無意識に手や鼻、口を触っているので、外出後は必ず行いましょう。

咳の子のなぞなぞ遊びきりもなや　中村汀女（ていじょ）

今月の人 まつり

かかわる人の人生の一部になりたい！ 人の心のケアができる人になりたい！

1月2日、窪川四万十会館で行われた成人式では、142人の新成人が式典に参加し、めでたく大人の仲間入りをしました。

今年の成人式で、宣誓を行ったのは國本明日花さんと谷脇翔馬さん。國本さんは窪川小・中から明徳義塾高校を経て、高知リハビリテーション学院に進まれました。小学校3年生からバレーボールを続けてきたそうです。競技を続けていく中で、度重なるケガに悩まされ、ケガから復帰するために行うリハビリテーションでは、何度も理学療法士の先生にお世話になりました。それがきっかけとなり、理学療法士への道を選択しました。しかし、学んでいくうちに、自分には作業療法士の方が向いているのではないかと思い、現在は作業療法士になることを目指して勉強中なのだそうです。「作業療法士としてかかわる人の人生の一部になりたい」それが國本さんの夢でもあり目標です。

谷脇さんは、田野々小・大正中から四万十高校を経て、現在、あぐり窪川のレストランで働いておられます。自分が本当にやりたいことは何かを探しながら汗を流す谷脇さんは、もともと人と話すのが苦手で、何とかコミュニケーション能力を身につけたいと思ってきたそうです。人と話すのが苦手では、ホール係として苦労が多かったのではないかと尋ねてみると「実は、お客さまが話しかけてくださるので話せるようになりました。特に高齢の方がよく話かけてくださいます。自分にとっては、それが突破口になったと思います。思いがけないところで、思いがけない方々が、今まで破れなかった僕の殻を破ってくれました。本当に感謝しています」と、明かしてくれました。今後は、どういったかたちになるかはまだはっきりしていませんが、人々のメンタルケアができるようになりたいと思っているのだそうです。

「誰かの役に立ちたい」という思いがすくすくと育っている四万十町の若者たち。「大人のベテラン」も今一度自分を見つめ直さねばいけませんね。

▲今年の「宣誓」もたいへん立派でした

國本 明日花（くにもと あすか）さん

谷脇 翔馬（たにわき しょうま）さん

まちの話題 topics&report

お米日本一コンテストで金賞を受賞

11月29日・30日、静岡県で開催された「第14回お米日本一コンテスト」にて全国約520点のお米の中からJA四万十エコ栽培米生産部会に所属する佐竹準夫さん、仁井田の米販売店「宮内商店」の稲作部会に所属する廣井栄治さん、森光幸一さんが栽培した「にこまる」が最終審査会で金賞を受賞しました。

初入賞で大変光栄です。これを機に後進や就農希望者への励みになればうれしいです。

佐竹（さたけ） 準夫（のりお）さん

今回の受賞は大変うれしいです。これを励みに来年も、おいしいお米を作っていきたいです。

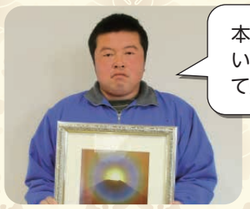
廣井（ひろい） 栄治（えいじ）さん

今大会が最後の出品で、良い記念になりました。

森光（もりみつ） 幸一（こういち）さん

米・食味分析鑑定コンクール 国際大会で特別優秀賞

11月25日・26日、山形県真室川町で開催された「第19回米・食味分析鑑定コンクール国際大会」にて、仁井田の米販売店「宮内商店」の稲作部会に所属する井上泰禎さんが栽培した「にこまる」が都道府県代表お米選手権にて特別優秀賞を受賞しました。

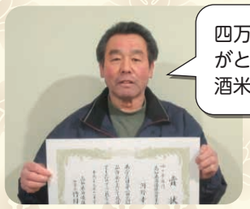


本大会で初受賞となり、大変うれしいです。来年もおいしいお米を作って受賞できるように頑張ります。

井上（いのうえ） 泰禎（ひろただ）さん

高知県酒造品評会で 優秀賞を受賞

12月26日、高知市で開催された第2回高知県酒米品評会「吟の夢」部門において河野幸良さんが同品評会の優秀賞にあたる高知県酒造組合理事長賞を受賞し、四万十町では初の受賞となりました。



四万十のお米で受賞できたことがとてもうれしいです。今後も酒米作りを続けていきたいです。

河野（こうの） 幸良（こうりょう）さん

興津中学校 ぼうさい甲子園で奨励賞を受賞！

興津中学校の昭和南海地震の聞き取り調査や家具固定の普及啓発に関する取り組みが、防災教育や活動を顕彰する「1･17 防災未来賞（ぼうさい甲子園）」（兵庫県、毎日新聞社等主催）において、奨励賞を受賞しました。

本年度は、家具固定の取り組みを継続するとともに、昭和南海地震についての聞き取り調査を行いました。当時10代であった方々から71年前のことを聞き取りし、当時の地震発生時の様子から多くのことを学びました。

興津中学校は、「今回の受賞を励みとし、地域の宿命である津波被害から地域全員が逃げ切り、再会できるよう取り組みを継続していきたいと考えています。」と決意を新たにしています。